

# たんぽぽ



## 流行るかな？ ランプシェード制作



今、中学生の間で、ちょっとブームになり始めた、作品作りをご紹介します。  
 まず、初めに、和紙を独特な方法で正方形や三角形に折りたたみます。次に、折りたたんだ白い和紙の角を、5色の染料液で、順番に染めていきます。角を全部染め終わったら、折りたたんだまま、乾燥させます。染まった和紙がしっかり乾燥したら広げてみます。そうすると、予想できなかったカラフルな色模様紙のできあがり。夏の季節には、この色模様紙をおおぎ型に切り取って、うちわのほねに裏表両方貼って仕上げます。これからの季節は、ハロウィン～クリスマス。そこで登場するのがランプシェードです。土台はペットボトルを使います。色模様紙を四角形や三角

形に切ったり、そのまま土台に、のりで貼っていきます。同じ和紙、同じ折り方、同じ染料液なのに出来上がる色模様紙は、どれも違うオリジナル作品です。病院の消灯時刻は早いのですがそこから、このランプシェードはベッドサイドを美しく照らし始めます。光源はクリスマスツリーのライトのように、次から次へと色が変わる優れもの。いつまでも見飽きません。『スタンドグラスに似てるね。』（生徒感想より） 人がほんとうに出た時のことを考えると楽しくなります。今から、また、ペットボトルをたくさん集めたいと思います。



## 小児病棟では今 こんな取り組みが



小児病棟では毎月、お楽しみ会が開かれます。小児病棟の保育士さんと子どもたちが一緒に、準備や当日の進行をします。10月のお楽しみ会はもちろん、お月見の会でした。保育士さんが順番に病室をまわって、まん丸お月さんは1年間に12回ある話や、すずむし、お月様の歌 今日だけの特別なおやつや、クイズ大会をして楽しみました。いつまでも忘れない思い出が、またできました。



保育士さんからの手作りプレゼント

## 「入院川柳」or「退院川柳」傑作選より②

昨年の5月号以来のお披露目です。今までの作品の中から、傑作作品を選んでみました。

煮魚が	料亭よりも	神の味	乱れた	早寝・早起き	完璧だ
入院で	人のやさしさ	身に染みる	退院を	したはいいけど	わすれもの
看護師さん	甘やかさないで	できるから	お昼ごはん	点滴後なのに	正午から

皆さんは上記の川柳をどのように読み取られたでしょうか。

これも、1つの、院内文化ですね。経験者、体験者、皆、うなずいて納得でしょう。